

福島第一原子力発電所３号機におけるプルサーマル実施に係る 安全監視状況について

平成22年11月30日

安全確認 P T

福島第一原子力発電所３号機におけるプルサーマル実施に係る原子炉内のMOX燃料及びウラン燃料の最小限界出力比及び燃料棒最大線出力密度のこれまでの測定値について、確認した結果は下記のとおりです。（平成22年９月23日～平成22年11月21日までのデータとなります。）

なお、平成22年９月16日付けで情報提供のあった、原子炉停止余裕の検査結果については、検査が適切な手順を踏んで実施されたこと、及び検査結果が特に問題ないことを確認しております。

記

1 測定値の推移

(1) 最小限界出力比（別紙図１参照）

MOX燃料の測定値は、1.70～3.48（営業運転開始後は、1.71～1.74）と運転制限値（1.28以上）の範囲内で推移した。

ウラン燃料の測定値は、1.40～2.75（営業運転開始後は、1.46～1.47）と運転制限値（1.29以上）の範囲内で推移した。

(2) 最大線出力密度（別紙図２参照）

MOX燃料の測定値は、16.4～39.9kW/m（営業運転開始後は、38.4～39.0kW/m）と運転制限値（44.0kW/m以下）の範囲内で推移した。

ウラン燃料の測定値は、16.8～39.8kW/m（営業運転開始後は、38.2～38.5kW/m）と運転制限値（44.0kW/m以下）の範囲内で推移した。

2 確認結果

いずれの測定値も運転制限値の範囲内で推移しており、特に問題のないことを確認した。

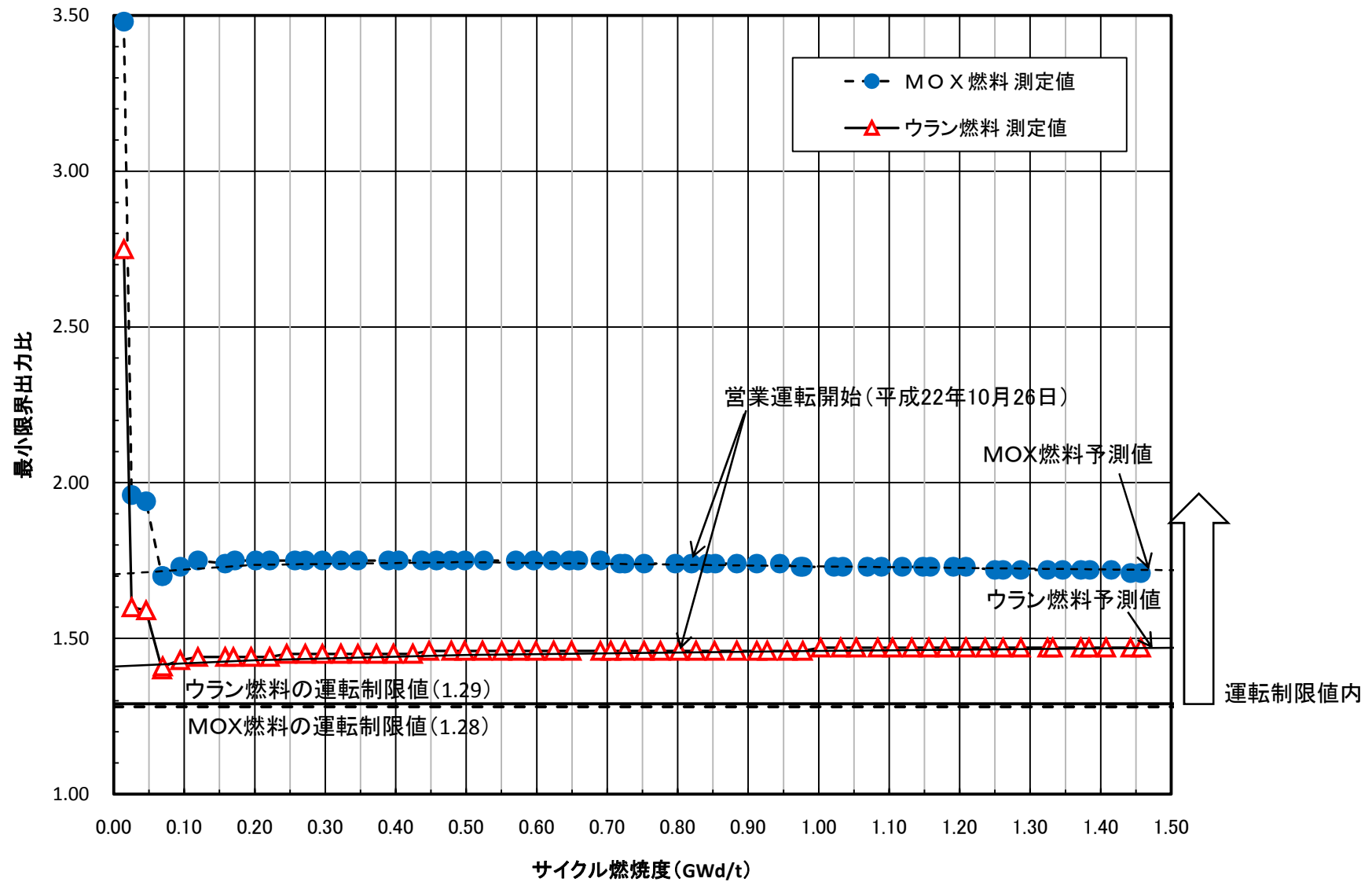


図1 最小限界出力比の推移

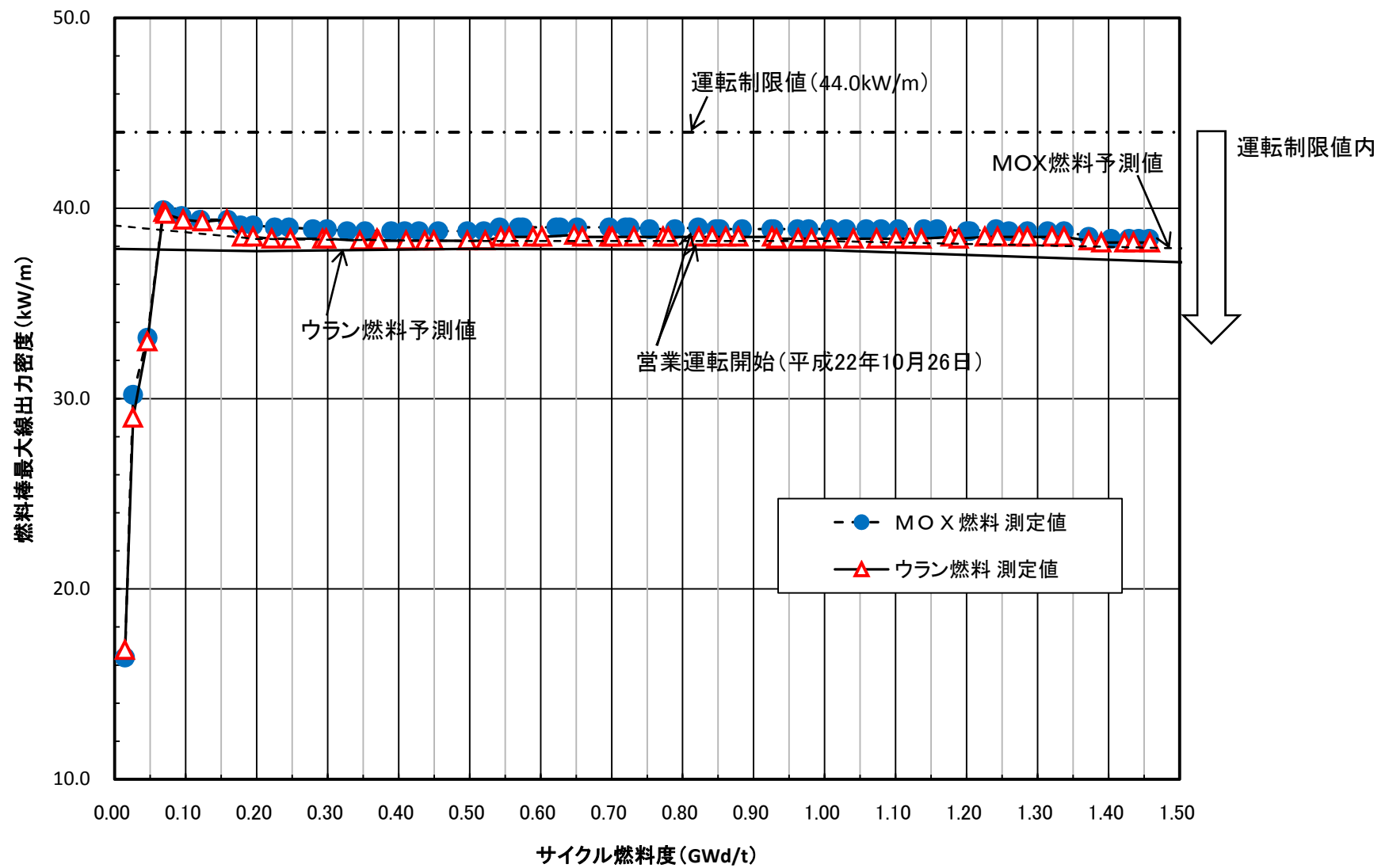


図2 燃料棒最大線出力密度の推移